

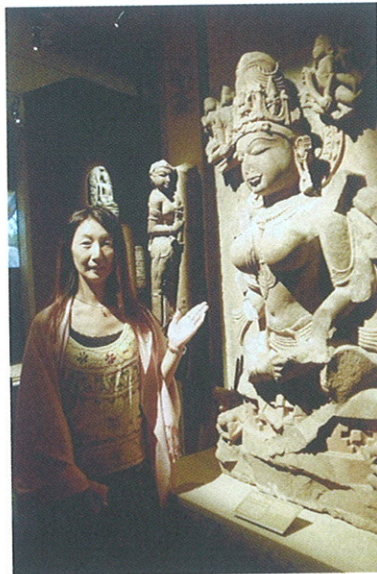
アジア文明博物館

シンガポール

シンガポールには、歴史や風俗を紹介した国立博物館から、おもちゃや切手に特化したものまで、「博物館」と名の付く施設が20近くある。その中で、在住14年の主婦佐々木衣子さん(46)が薦めるのはアジア文明博物館だ。

アジア全域を対象とした

多民族国家シンガポールのルーツをたどるのを目的



アジア文明博物館でインドの女神像を紹介する佐々木衣子さん

博物館は東南アジアで唯一。同館で月3回、日本語ガイドのボランティアも務める佐々木さんは「1か所でアジア中の文化をまとめて楽しめるのが魅力。国内で最も見ごたえがある」と話す。

多民族国家の源流

に2003年に開館。東南、南、西の各アジア、中国の4地域に分けられた展示室に約1300点が並ぶ。

インド政府から貸与されたヒンズー教の女神や中国・山東省で見つかった関羽像などが目玉。建物自体も19世紀以来、増改築が繰り返された歴史的建造物。「銀行だった時代もあり、金庫室が特徴を残しているのも展示室に使われているのも面白い」と佐々木さん。

シンガポール川や高層ビル街を眺めながら、コーヒーを楽しめるカフェも併設されている。

(シンガポール 岡崎哲、写真も)

【行き方】 MRT南北線、東西線「ラッフルズプレイス駅」から徒歩5分。